

小中学校の現状把握について

1 学校施設の状況

(1) 小中学校の施設一覧

小中学校のほとんどの校舎建物は鉄筋コンクリート造(RC造)、屋内運動場(体育館)は鉄骨造(S造)であり、旧耐震基準の建物で耐震性能が基準値以下の建物は全て耐震補強が完了している。

<小学校>

単位：年、㎡、室

学校名	開校年度	建物名称	棟番号	構造	階数	建築年	経過年数	耐震基準	校舎等面積	校地積	教室		
											教室数	普通	特別
底井野小学校	明治7年 (1874)	教室棟	8-1	RC造	3	1970	48	旧	975	18,012	16	8	8
		教室棟	8-2	RC造	3	1971	47	旧	923				
		管理・教室棟	8-3	RC造	3	1972	46	旧	1,116				
		屋内運動場	10	RC造	1	1984	34	新	746				
		小計				-			3,760				
中間東小学校	昭和24年 (1949)	屋内運動場	23	S造	2	1971	47	旧	1,004	23,456	30	21	9
		教室棟	26-1	RC造	3	1977	41	旧	1,165				
		教室棟	26-2	RC造	3	1978	40	旧	1,681				
		管理・特別教室棟	27	RC造	3	1979	39	旧	2,035				
		教室棟	28	RC造	3	1980	38	旧	975				
		小計				-			6,860				
中間小学校	明治7年 (1874)	管・特・普教室棟	23-1	RC造	3	1975	43	旧	1,833	27,066	31	13	18
		普通教室棟・給食棟	23-2	RC造	3	1976	42	旧	841				
		管理・普通教室棟	24-1	RC造	3	1977	41	旧	1,270				
		特別・普通教室棟	24-2	RC造	3	1978	40	旧	2,042				
		屋内運動場	25	S造	1	1979	39	旧	972				
		小計				-			6,958				
中間北小学校	昭和29年 (1954)	屋内運動場	18	S造	2	1972	46	旧	790	30,274	25	15	10
		教室棟	19-1	RC造	4	1979	39	旧	1,313				
		特別教室棟	19-2	RC造	4	1980	38	旧	1,523				
		管理・教室棟	19-3	RC造	4	1981	37	旧	1,144				
		普通教室棟・給食棟	19-4	RC造	4	1982	36	旧	1,200				
		小計				-			5,970				
中間南小学校	昭和49年 (1974)	教室棟・管理棟	1-1	RC造	3	1973	45	旧	2,177	25,346	29	20	9
		教室棟・管理棟	1-2	RC造	3	1974	44	旧	501				
		特別・教室棟	4-1	RC造	3	1975	43	旧	1,174				
		特別・教室棟	4-2	RC造	3	1975	43	旧	461				
		普通・特別教室棟	4-3	RC造	3	1979	39	旧	1,879				
		屋内運動場	7	S造	2	1979	39	旧	1,018				
		小計				-			7,210				
中間西小学校	昭和54年 (1979)	管・普・特教室棟	1	RC造	3	1978	40	旧	3,419	29,116	25	14	11
		管・普・特教室棟	3	RC造	3	1979	39	旧	2,812				
		屋内運動場	4	RC造	1	1981	37	旧	946				
		小計				-			7,177				
合計									37,935	153,270	156	91	65

※経過年数は平成30年(2018)時点
 ※200㎡以下の建物は除く
 ※普通教室には、特別支援学級を含む

資料：平成30年度中間市公立学校施設台帳

<中学校>

単位：年、㎡、室

学校名	開校年度	建物名称	棟番号	構造	階数	建築年度	経過年数	耐震基準	校舎等積	校地積	教室		
											教室数	普通	特別
中間中学校	昭和22年 (1947)	特別教室棟	21-1	RC造	4	1971	47	旧	1,199	34,368	19	9	10
		管理・教室棟	21-2	RC造	4	1972	46	旧	1,465				
		教室棟	21-3	RC造	4	1973	45	旧	1,897				
		屋内運動場	24	S造	2	1978	40	旧	975				
		武道場	29	S造	1	2010	8	新	445				
		小計	-										
中間北中学校	昭和32年 (1957)	屋内運動場	22	S造	2	1969	49	旧	786	51,148	21	7	14
		教室棟	24-1	RC造	4	1975	43	旧	1,204				
		教室棟	24-2	RC造	4	1976	42	旧	342				
		教室棟	24-3	RC造	4	1977	41	旧	949				
		管理特別教室棟	24-4	RC造	4	1978	40	旧	1,029				
		管理特別教室棟	24-5	RC造	2	1979	39	旧	705				
		武道場	29	S造	1	2010	8	新	445				
小計	-							5,460					
中間東中学校	昭和36年 (1961)	屋内運動場	20	S造	2	1970	48	旧	821	47,879	30	12	18
		特別教室棟	24-1	RC造	5	1975	43	旧	897				
		管理・普通教室棟	24-2	RC造	5	1976	42	旧	2,836				
		管理・普通教室棟	24-3	RC造	5	1977	41	旧	1,268				
		特別・普通教室棟	24-4	RC造	5	1978	40	旧	1,634				
		武道場	31	S造	1	2010	8	新	449				
		小計	-										
中間南中学校	昭和59年 (1984)	屋内運動場	1	RC造	2	1983	35	新	1,097	34,921	28	11	17
		管理棟・教室棟	2	RC造	4	1984	34	新	5,514				
		武道場	7	S造	1	2010	8	新	445				
		小計	-										
合計									26,402	168,316	98	39	59

※経過年数は平成30年（2018）時点

※200㎡以下の建物は除く

※普通教室には、特別支援学級を含む

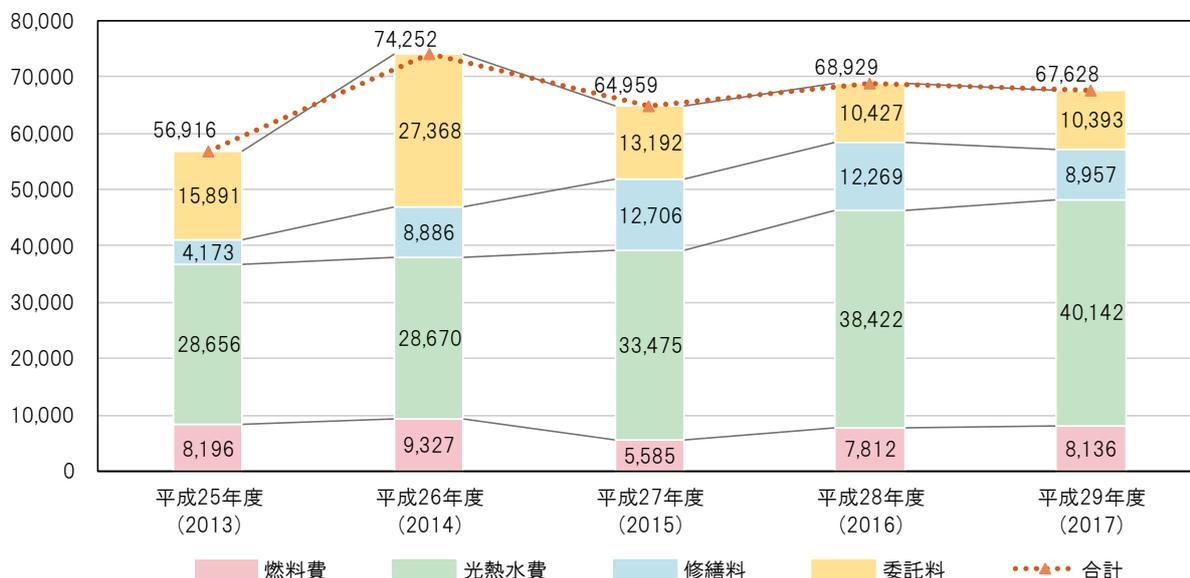
資料：平成30年度中間市公立学校施設台帳

中間市学校施設長寿命化計画より抜粋(平成31年3月策定)

(2) 小中学校の維持管理費の推移

<小学校>

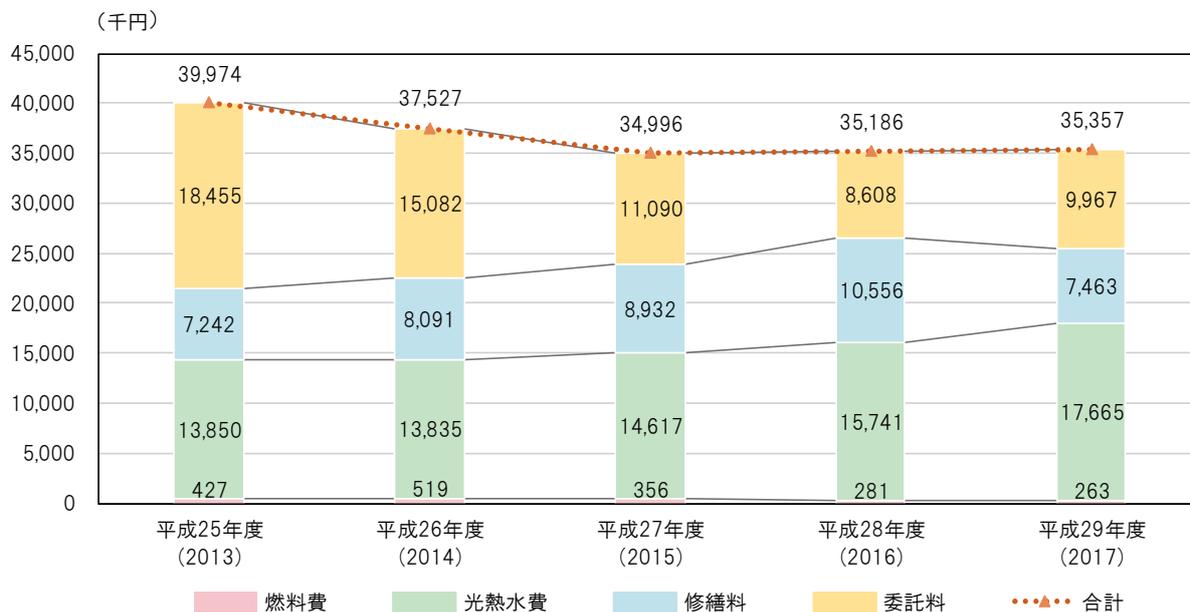
小学校6校の維持管理費（燃料費、光熱水費、修繕料、委託料）は、平成25年度から平成29年度までの5年間の年平均6,653万円、1校あたりでは、約1,109万円である。
(千円)



中間市学校施設長寿命化計画より抜粋(平成31年3月策定)

<中学校>

中学校4校の維持管理費（燃料費、光熱水費、修繕料、委託料）は、平成25年度から平成29年度までの5年間の年平均で3,660万円で、1校あたりでは、約915万円である。



中間市学校施設長寿命化計画より抜粋(平成31年3月策定)

(3) 学校施設の老朽化所見（中間市学校施設長寿命化計画から抜粋）

①小学校校舎

- ・ 築40年以上の建物の老朽化が進んでいます。特に、屋根・屋上や外壁に広範囲の劣化が見られる建物は健全度が低くなっています。
- ・ 中間南小学校の棟番号1-1と中間東小学校の棟番号26-2の建物は築40年以上が経過しているため劣化が多く見られ、外壁については早急に対応する必要があります。
- ・ 中間小学校は築40年以上が経過していますが、外壁等の改修工事を行っているため比較的良好な状態です。
- ・ 築40年未満の建物は、部分的な劣化は見られますが、広範囲の劣化はあまり見られません。

② 小学校屋内運動場

- ・ 築40年程度を経過した建物は、老朽化により雨漏り補修工事を行っています。そのため、屋根・屋上の劣化はほとんど見られません。
- ・ 中間東小学校の屋内運動場は小学校の屋内運動場の中で最も古い建物ですが、平成25年度（2013）に大規模改修工事を行っているため比較的良好な状態です。
- ・ 築40年未満の建物は、部分的な劣化は見られますが、広範囲の劣化はあまり見られません。

③中学校校舎

- ・ 築40年以上の建物の老朽化が進んでいます。特に、屋根・屋上や外壁に広範囲の劣化が見られる建物は健全度が低くなっています。
- ・ 中間東中学校の棟番号24-1と24-2の建物は築40年以上が経過しているため劣化が多く見られ、外壁や内部仕上について早急に対応する必要があります。
- ・ 築40年未満の建物は、中間南中学校の棟番号2の屋根・屋上等に広範囲の劣化や雨漏り跡が見られますが、その他の建物は良好な状態です。

④中学校屋内運動場

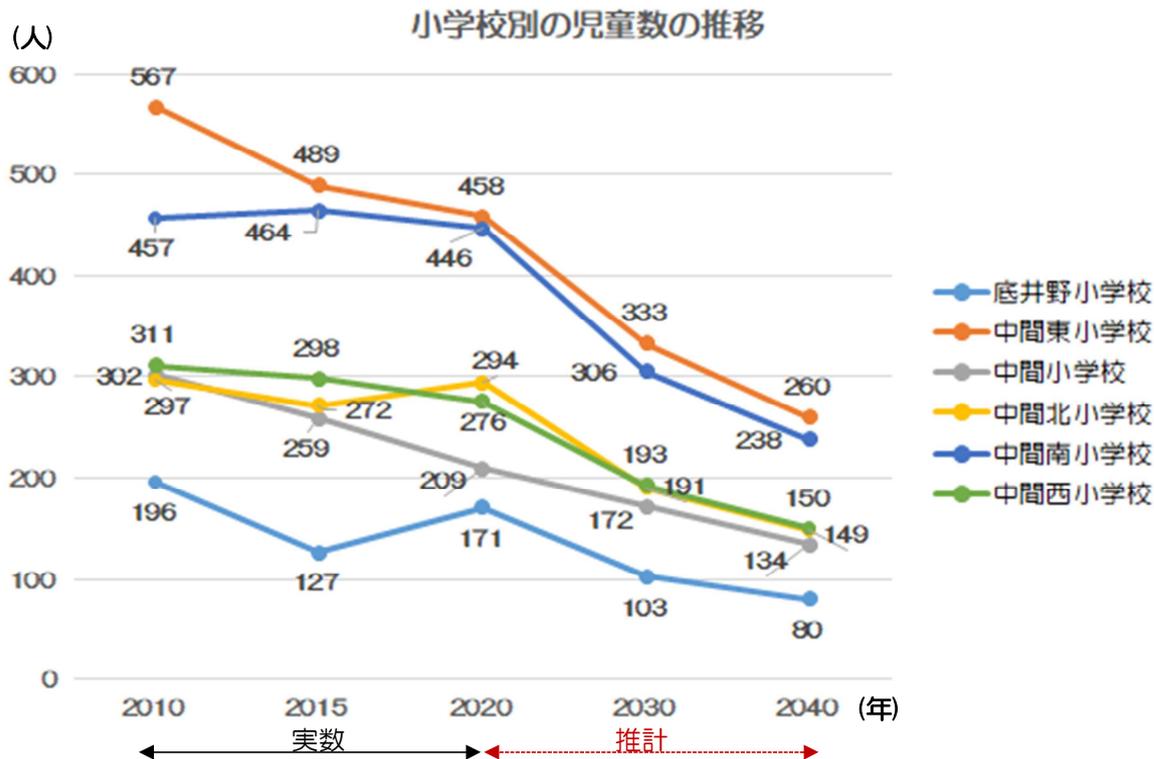
- ・ 中学校の屋内運動場は全体として、屋根・屋上や外壁に広範囲の劣化がほとんど見られず比較的良好な状態です。一方で、内部仕上や電気設備、機械設備については、中間南中学校を除き、築40年以上が経過し建築時からの状態を保っているため評価を下げています。

⑤中学校武道場

中学校の武道場は全て平成22年（2010）に建築された新しい建物であるため、劣化はほとんど見られず良好な状況です。

2 児童生徒数及び長期欠席者の推移について

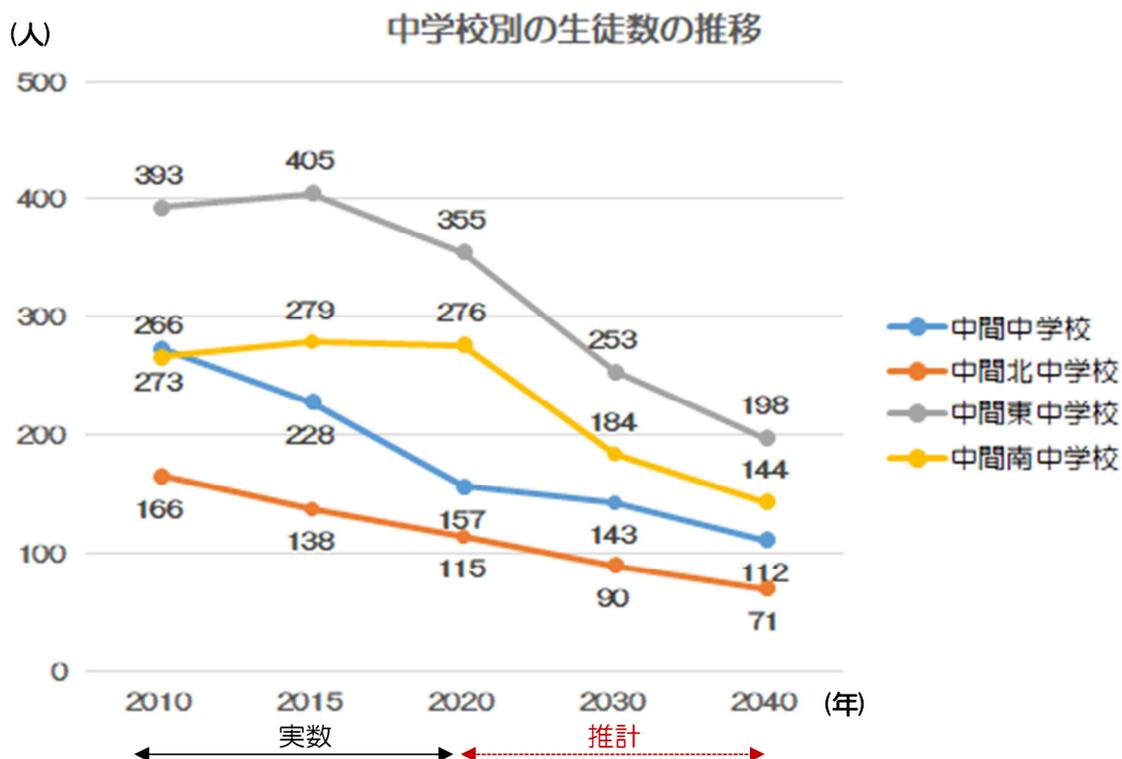
(1) 小学校別の児童数の推移(2010年～2040年)



※2010年、2015年、2020年は学校基本調査の実数値

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から算出

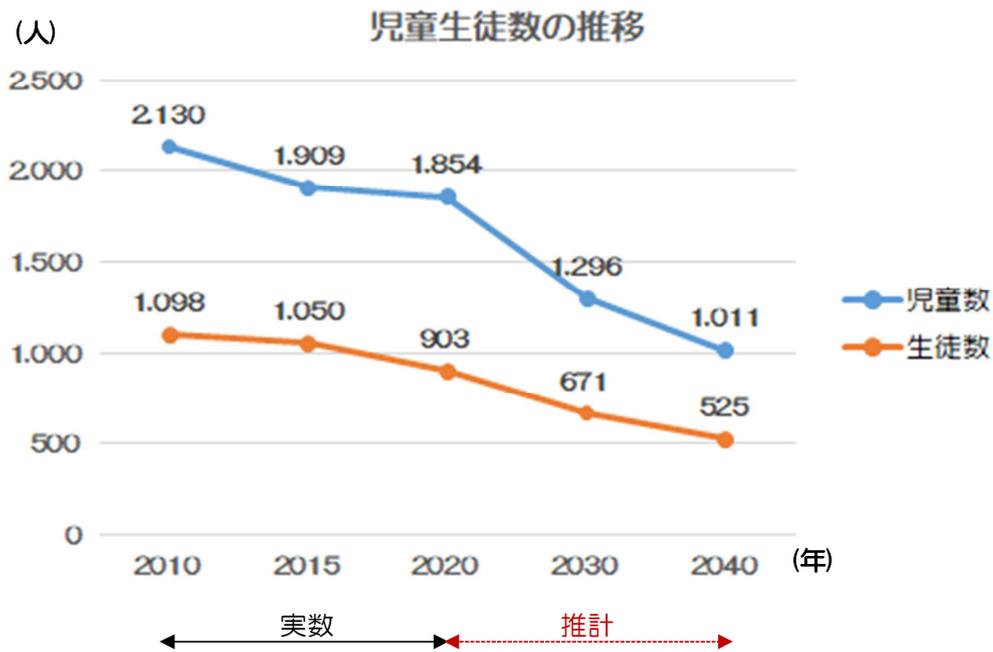
(2) 中学校別の生徒数の推移(2010年～2040年)



※2010年、2015年、2020年は学校基本調査の実数値

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から算出

(3) 児童生徒数の推移 (2010年から2040年)



※2010年、2015年、2020年は学校基本調査の実数値

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から算出

(4) 長期欠席者の推移 (年間を通して30日以上)

(単位：人、%)

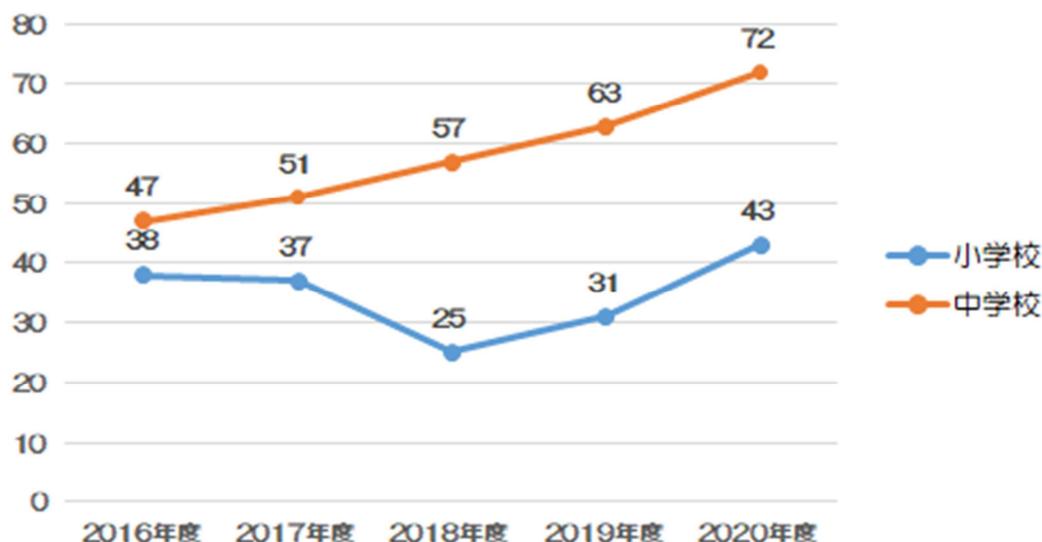
年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校	不登校	12 (3)	0.6%	8 (2)	0.4%	13 (0)	0.7%	21 (3)	1.1%	35 (26)	1.9%
	病欠	10	0.5%	16	0.8%	5	0.3%	7	0.4%	7	0.4%
	その他	16	0.8%	13	0.7%	7	0.4%	3	0.2%	1	0.1%
	計	38	2.0%	37	1.9%	25	1.3%	31	1.6%	43	2.3%
	(参考)児童数	1,932	—	1,921		1,925		1,885		1,854	
中学校	不登校	39 (8)	3.9%	44 (16)	4.5%	49 (9)	5.3%	55 (11)	6.0%	65 (48)	7.2%
	病欠	6	0.6%	3	0.3%	2	0.2%	4	0.4%	6	0.7%
	その他	2	0.2%	4	0.4%	6	0.7%	4	0.4%	1	0.1%
	計	47	4.7%	51	5.2%	57	6.2%	63	6.8%	72	8.0%
	(参考)生徒数	1,004	—	972		918		920		903	
合計		85	2.9%	88	3.0%	82	2.9%	94	3.4%	115	4.2%

※長期欠席者(年間を通して30日以上)

※()は復帰数

※その他は、不登校や病欠のいずれかにも該当しない理由により長期欠席した者。

長期欠席者の推移



3 市内小中学校施設等の現状把握に向けた教員アンケート調査結果報告（抜粋）

（1）調査の目的

学校施設の老朽化、児童生徒数の減少、ICT教育などの教育内容の多様化や新型コロナウイルス感染症などの環境の変化等、さまざまニーズに対応できる充実した教育環境の構築は喫緊の課題であり、中間市学校施設再編基本計画の策定に向け、現在の小中学校の施設の状況や児童生徒の学校における生活環境を把握し、将来の学校のあり方を検討する基礎資料とするため、教員の方を対象として実施した。

（2）調査対象

校長、教頭、主幹・指導教諭、教諭、助教諭、講師（非常勤講師を除く） 228名
 ※育児休暇や長期研修による不在者は対象外。

（3）調査期間

令和3年5月18日（火）から6月4日（金）まで

<小学校>

小規模校 …… 底井野小学校 中間小学校
 適正規模校 …… 中間東小学校 中間北小学校 中間南小学校 中間西小学校

<中学校>

小規模校 …… 中間中学校 中間北中学校 中間東中学校 中間南中学校

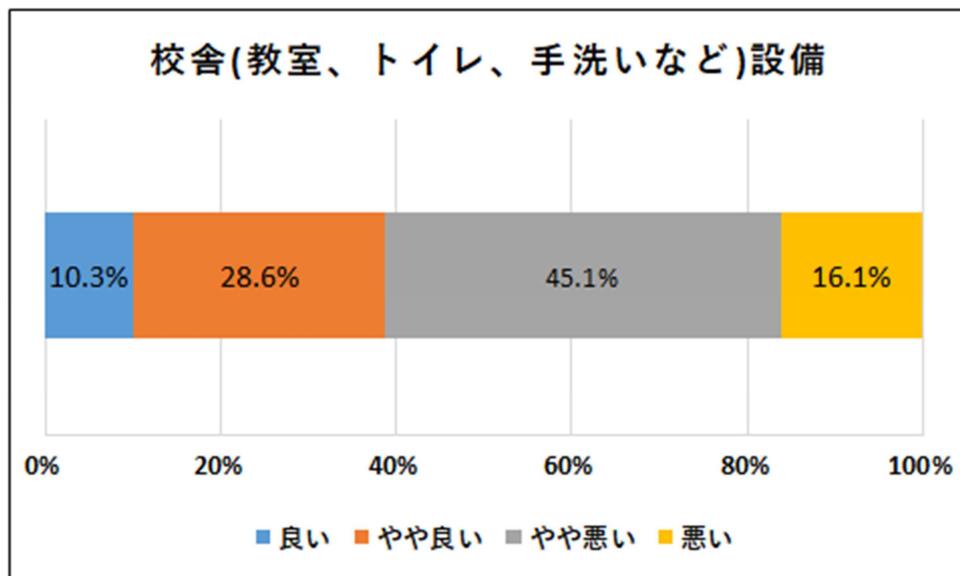
※規模別区分の学級数には、研究指定又は弾力的運用を含むが、特別支援学級は含まない。
 (2019年学校基本調査)

(4) 調査結果<抜粋>

【1】学校の施設設備の状況について

①校舎（教室、トイレ、手洗いなど）の設備状況

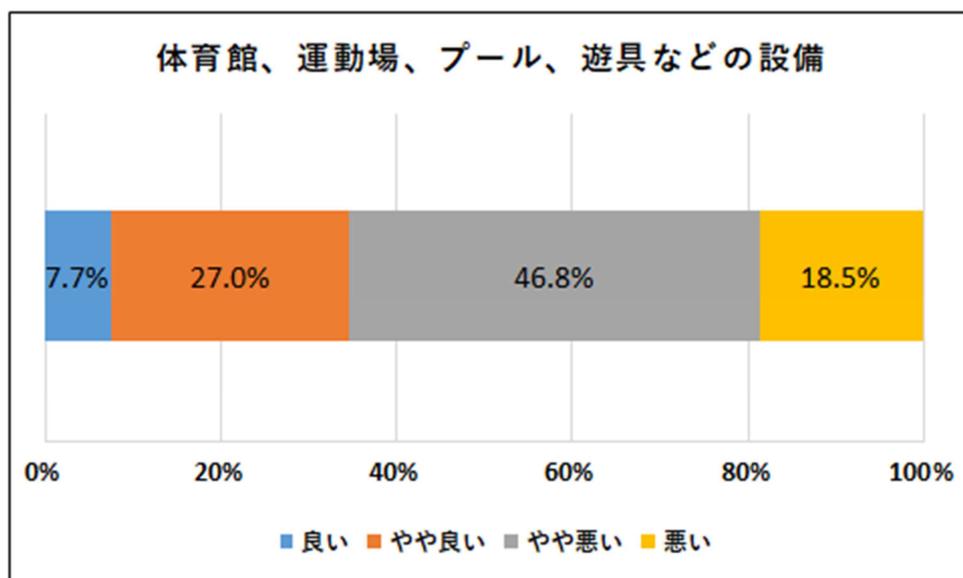
校舎（教室、トイレ、手洗いなど）の設備状況は、「やや悪い」「悪い」の合計が61.2%と約6割を超えている。



(サンプル数)224

②体育館、運動場、プール、遊具などの設備状況

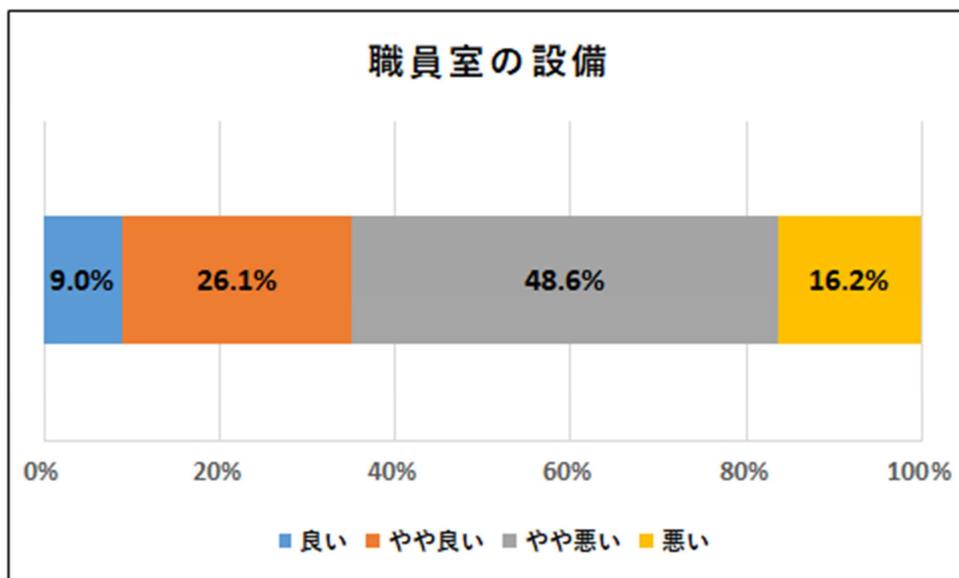
体育館、運動場、プール、遊具などの設備状況は、「良い」「やや良い」が34.7%、「やや悪い」「悪い」が65.3%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)222

③職員室の設備状況（部屋の広さ、執務のしやすさ、パソコンの環境など）

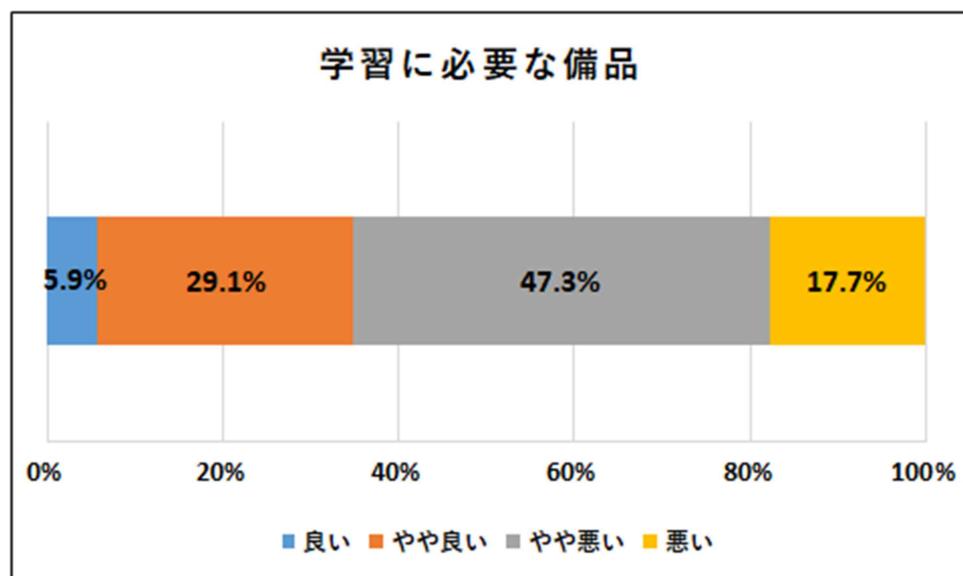
職員室の設備状況は、「良い」「やや良い」は35.1%、「やや悪い」「悪い」は64.8%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)222

④学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等の設備状況

学習に必要な黒板や掲示板、教壇、その他備品等の設備状況について、「良い」「やや良い」が35%、「やや悪い」「悪い」が65%となっており、「やや悪い」「悪い」と感じている方が、6割を超えている。

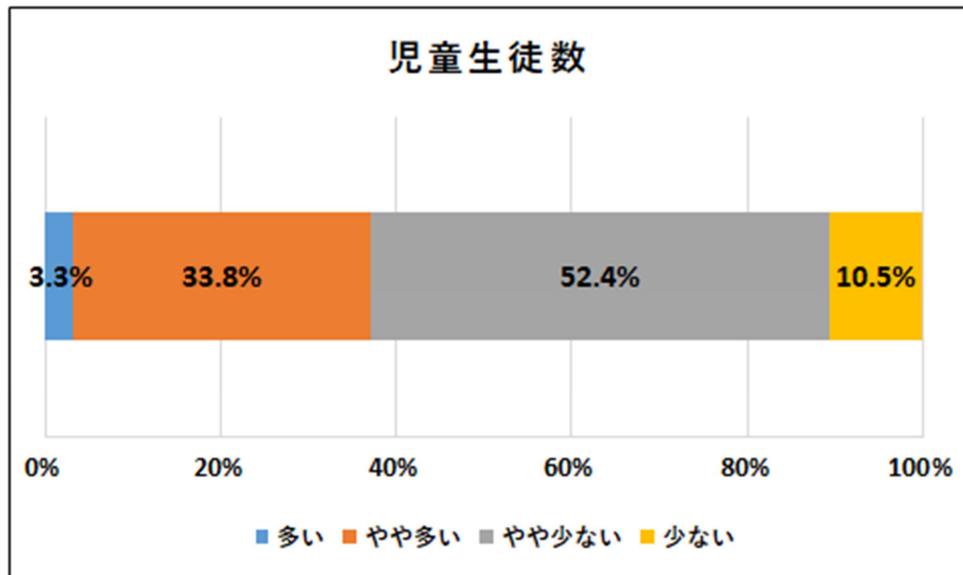


(サンプル数)220

【2】学校の児童生徒数や学級数の状況について

①学校行事などの教育活動を行う上での児童生徒数

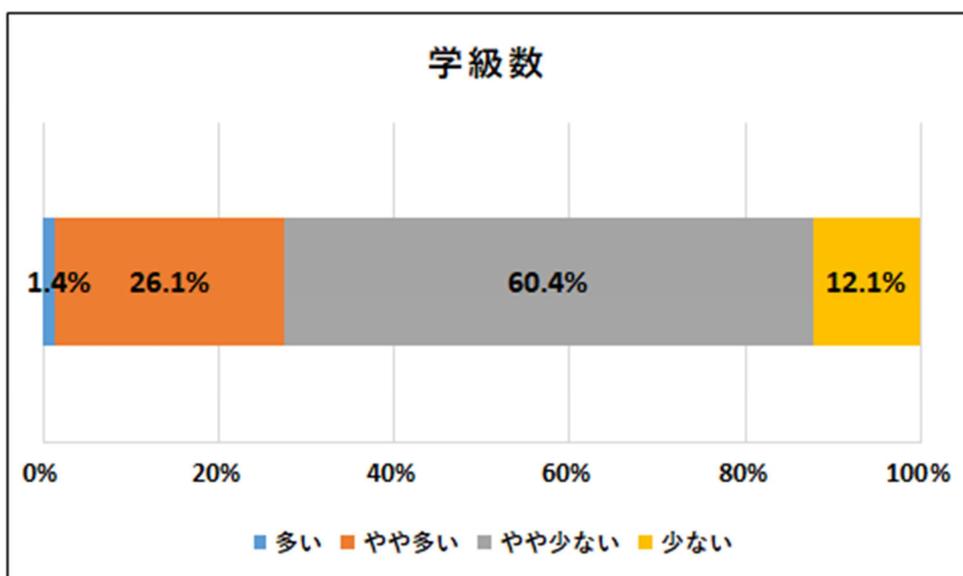
学校行事などの教育活動を行う上での児童生徒数については、「多い」「やや多い」が37.1%、「やや少ない」「少ない」が62.9%となっており、「やや少ない」「少ない」と感じている方が、6割を超えている。



(サンプル数)210

②学校行事などの教育活動を行う上での学級数

学校行事などの教育活動を行う上での学級数については、「多い」「やや多い」が27.5%、「やや少ない」「少ない」が72.5%となっており、「やや少ない」「少ない」と感じている方が、7割を超えている。

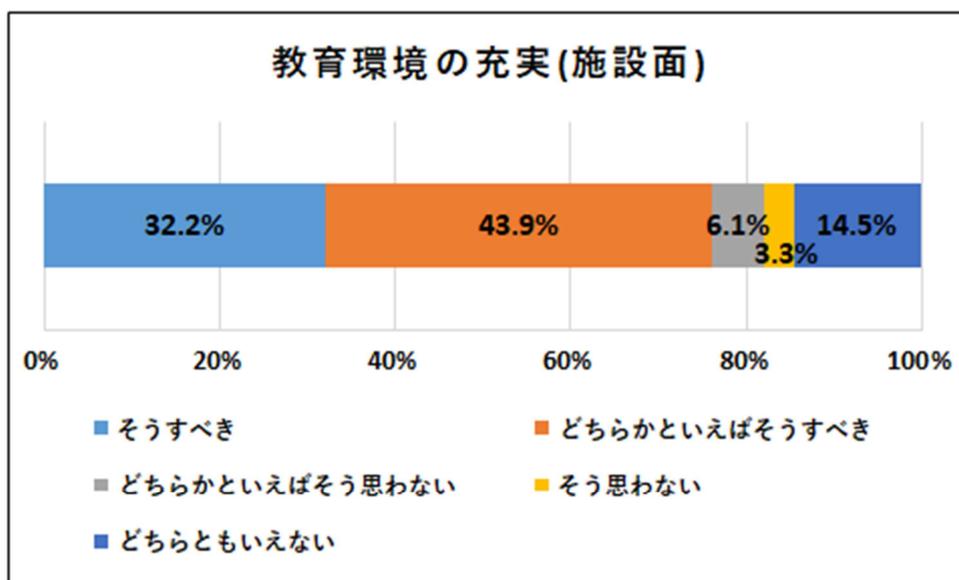


(サンプル数)207

【3】 中間市の将来の学校のあり方

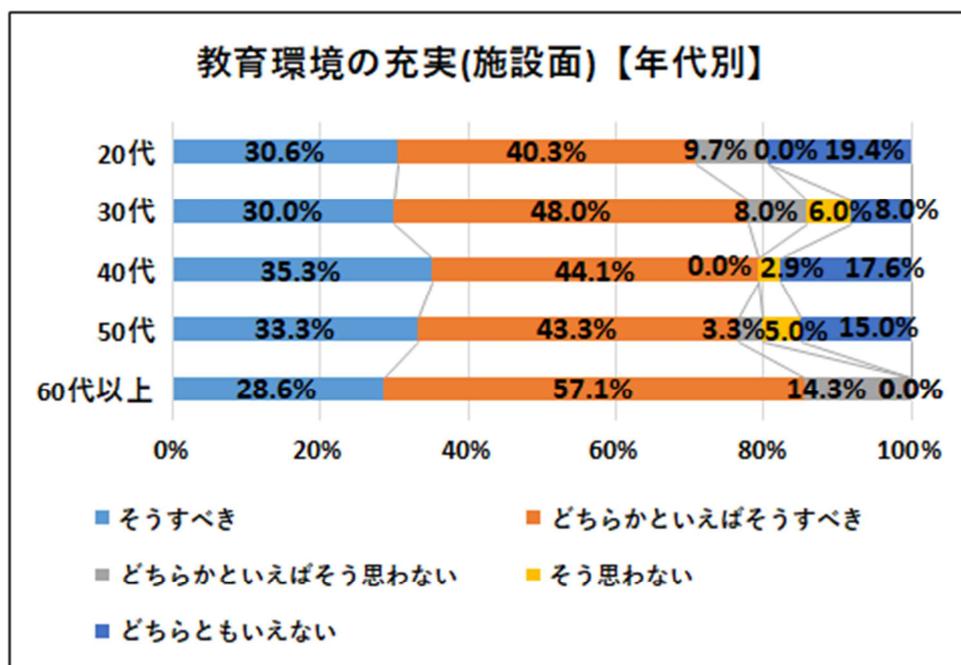
①教育環境(施設面)の充実

現在の小学校 6 校、中学校 4 校の将来のあり方について、施設の老朽化、少子化、ICT を含む学習環境の変化、新型コロナウイルス感染症などの新しい課題に対応するため、学校を再編し、適正な位置に適正な規模の学校を新設もしくは改築等して、子どもたちの教育環境（施設面）を充実させることについて、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、76.1%で7割を超えている。



(サンプル数)214

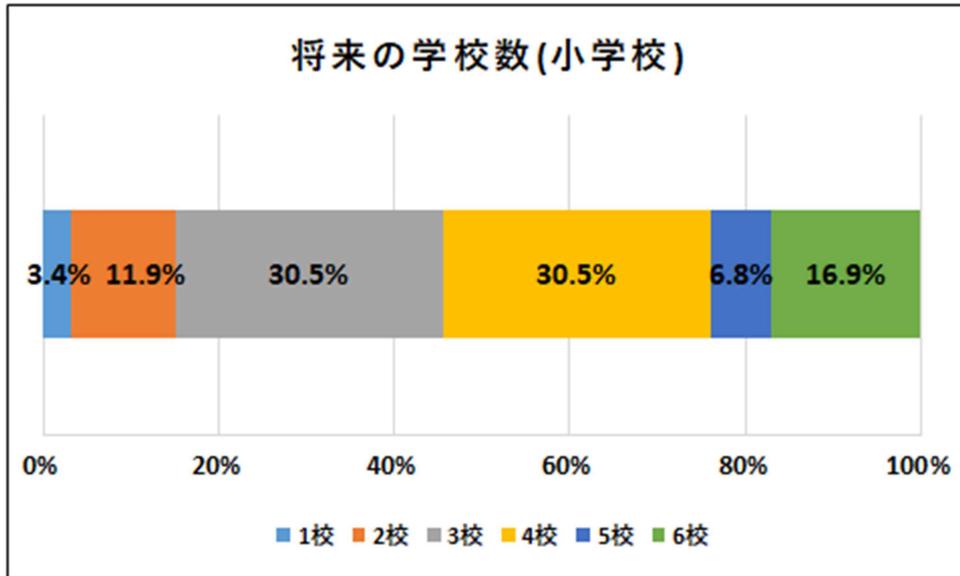
教育環境の充実(施設面)について年代別でみると、「そうすべき」「どちらかといえばそうすべき」が、すべての年代で7割を超えており、60代以上では8割を超えている。



(サンプル数)20代:62、30代:50、40代:34、50代:60、60代以上:7

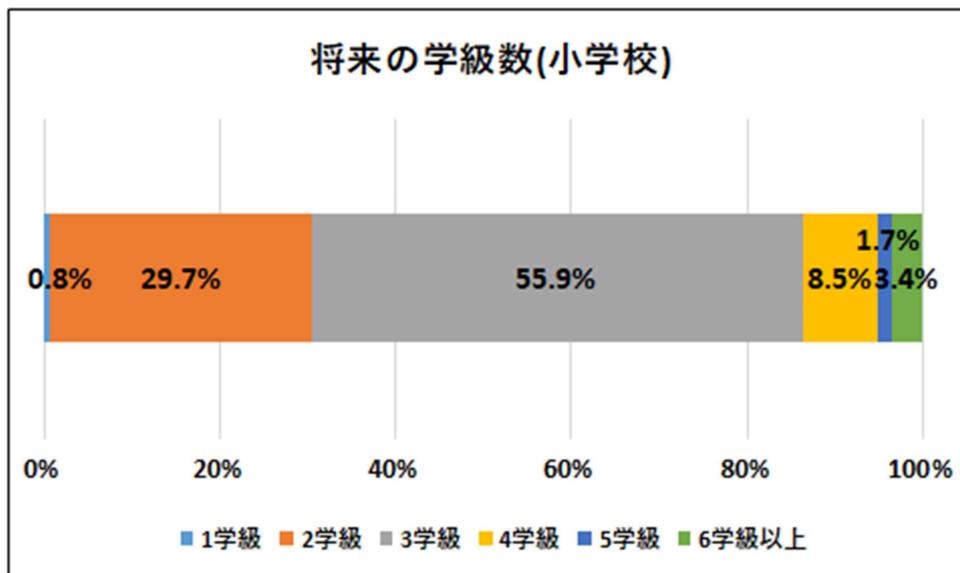
②将来の小学校、中学校の学校数・学級数

今後の少子化を見据えた将来の学校数については、小学校では「3校」と「4校」が30.5%と割合が高くなっている。



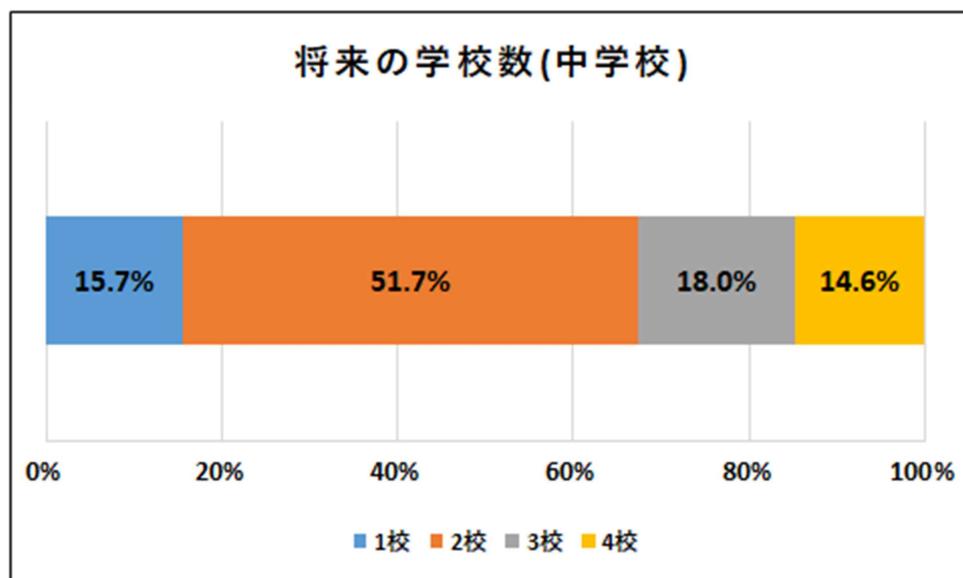
(サンプル数)118

今後の少子化を見据えた将来の1学年あたりの学級数について、小学校では「3学級」が55.9%と割合がもっとも高く、続いて「2学級」が29.7%となっている。



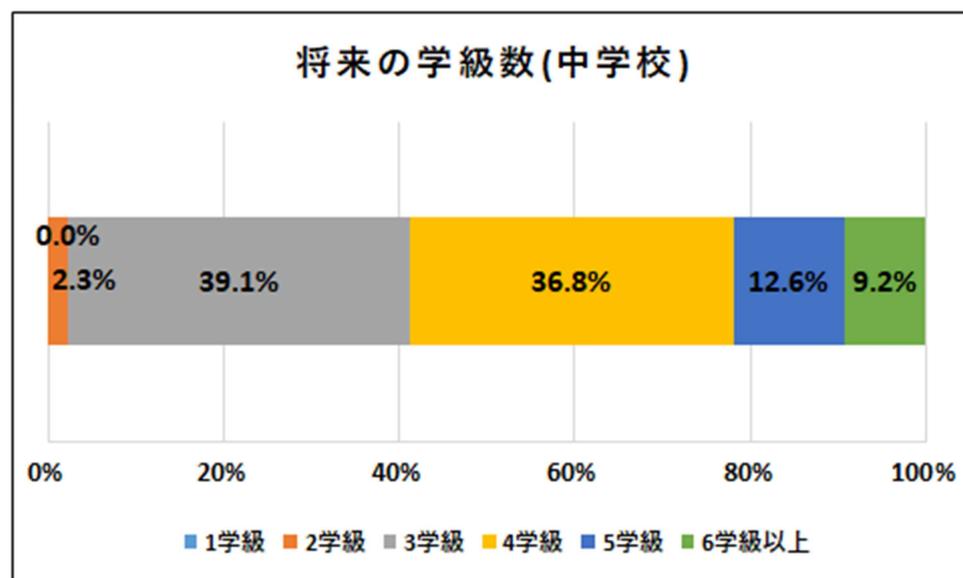
(サンプル数)118

今後の少子化を見据えた将来の学校数について、中学校では「2校」の割合が51.7%ともっとも高くなっている。



(サンプル数)89

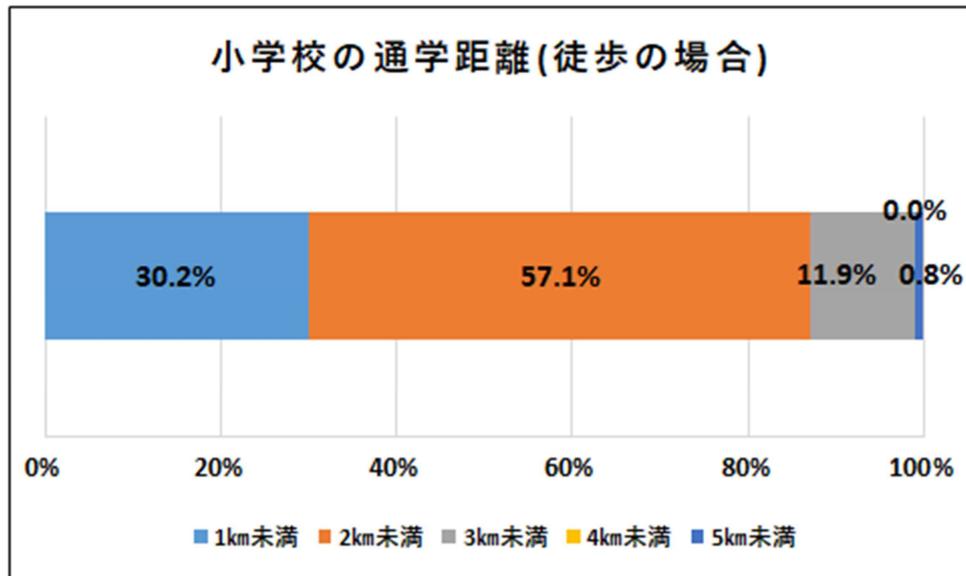
今後の少子化を見据えた将来の1学年当たりの学級数について、中学校では「3学級」が39.1%と割合がもっとも高くなっており、続いて「4学級」が36.8%となっている。



(サンプル数)87

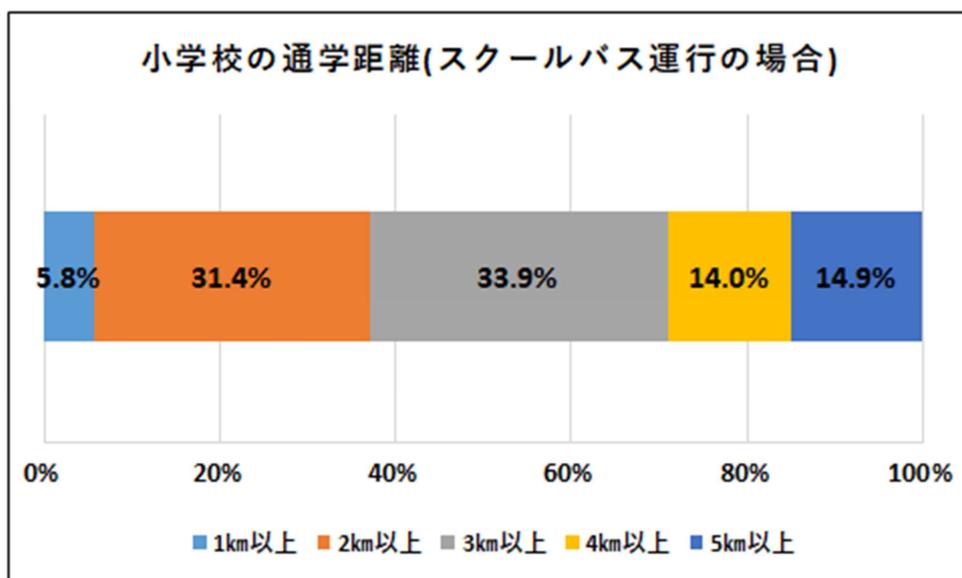
③小学校及び中学校の通学方法別の通学距離

小学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、徒歩の場合は、「2 km未満」の割合が57.1%でもっとも高く、続いて、「1 km未満」が30.2%となっている。



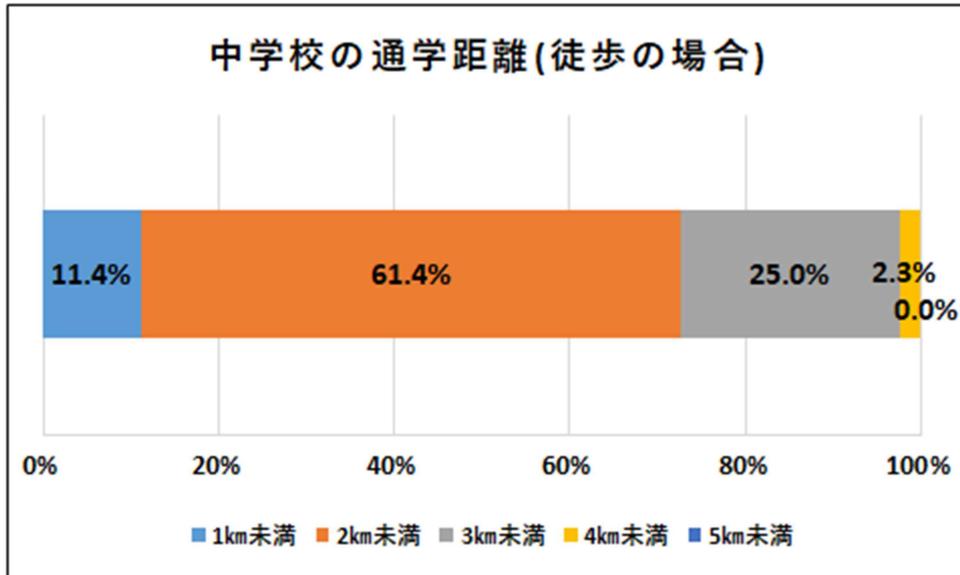
(サンプル数) 126

小学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、スクールバス運行の場合は「3 km以上」の割合が33.9%ともっとも高く、続いて、「2 km以上」の割合が31.4%となっている。



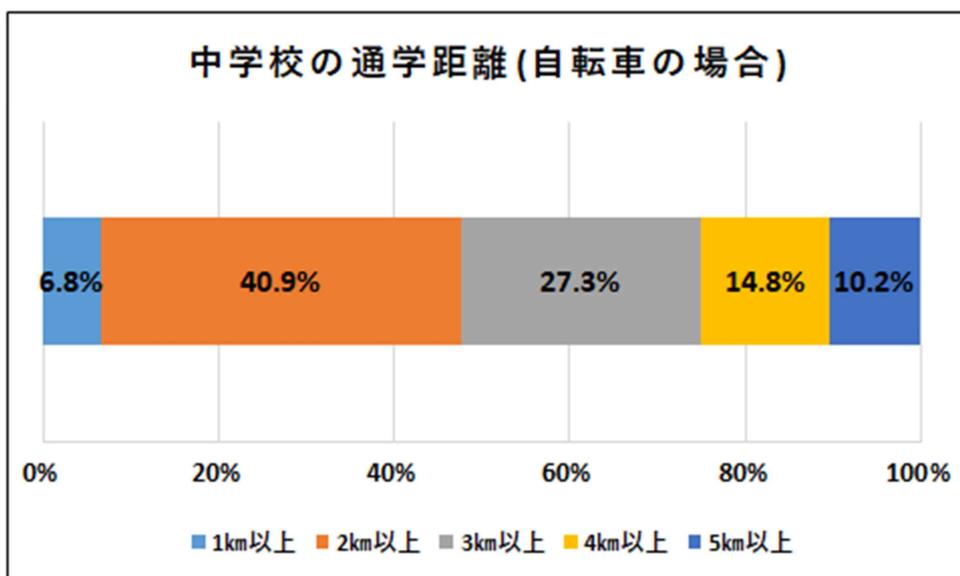
(サンプル数) 121

中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、徒歩の場合は「2 km未満」の割合が61.4%ともっとも割合が高くなっており、続いて、「3 km未満」の割合が25%、「1 km未満」の割合が11.4%となっている。



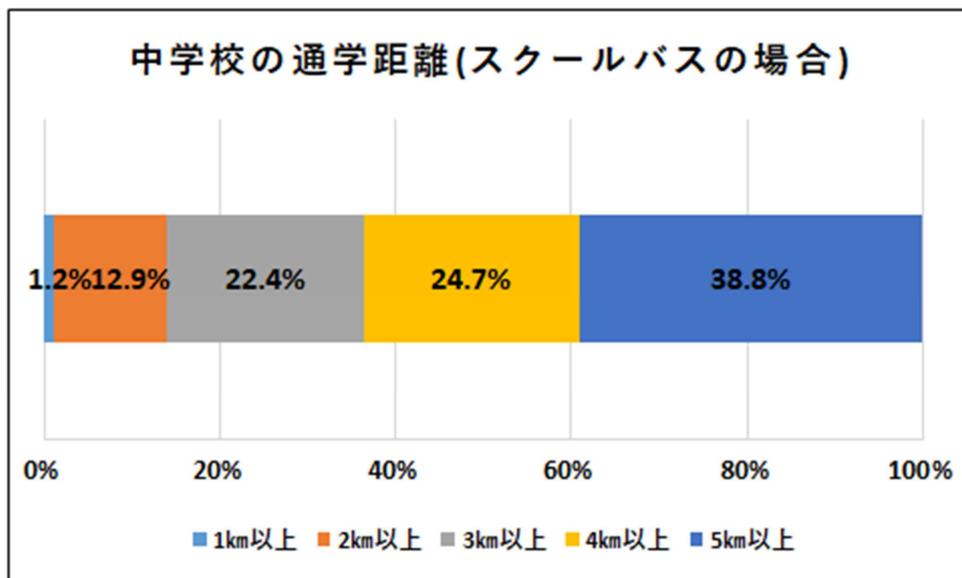
(サンプル数)88

中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、自転車の場合は「2 km以上」の割合が40.9%ともっとも高くなっており、続いて、「3 km以上」が27.3%、「4 km以上」が14.8%となっている。



(サンプル数)88

中学校の通学方法別の適切だと思う通学距離について、スクールバスの場合は「5 km以上」の割合が38.8%と最も高く、続いて、「4 km以上」は24.7%、3 km以上は22.4%となっている。

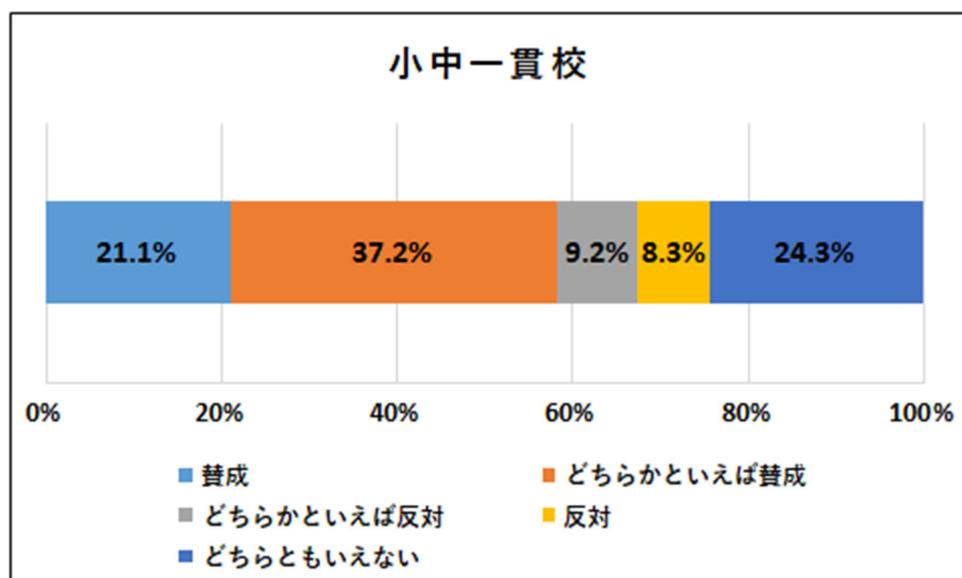


(サンプル数)85

【4】小中一貫校や学校の自由選択制、学校施設と市民体育館や図書館、プールなどの複合化の取組み

①小中一貫校について

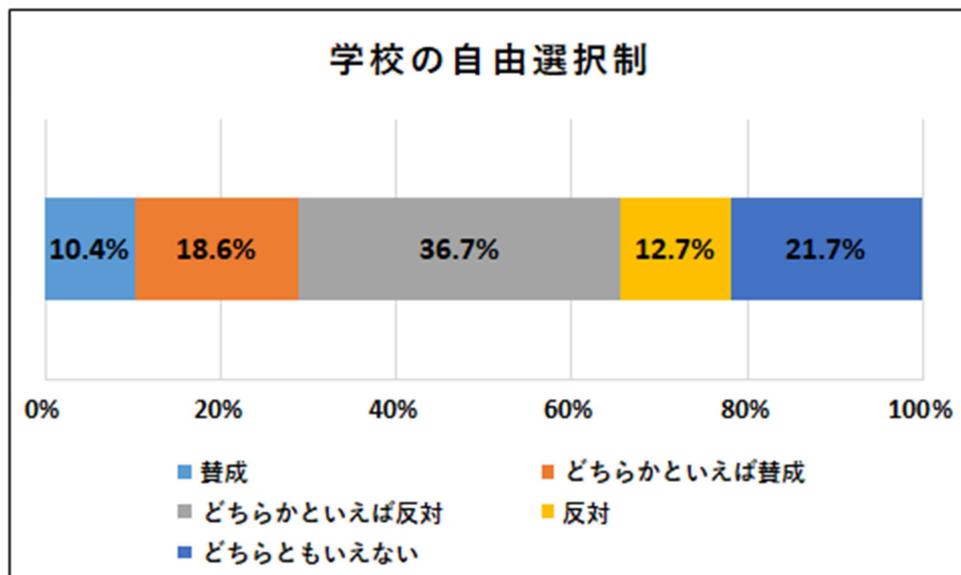
小中一貫校として、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指すことについて、「賛成」「どちらかといえば賛成」が58.3%と5割を超えている。



(サンプル数)218

②学校の自由選択制について

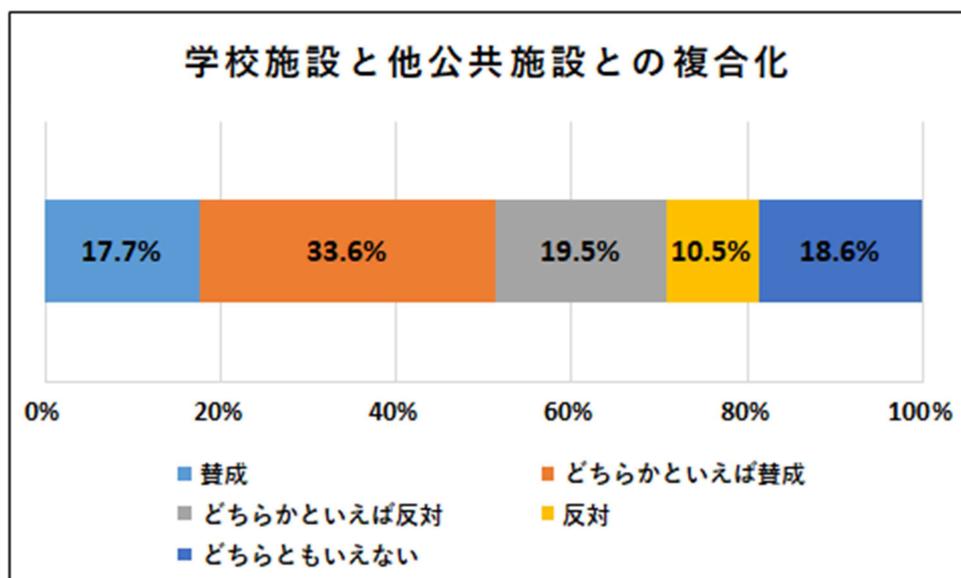
通学する学校を住所地の学校区だけでなく、市内の他の学校を自由を選択する制度について、どちらかといえば反対が36.7%ともっとも割合が高く、「どちらかといえば反対」「反対」を合わせると49.4%なり、約5割となっている。



(サンプル数)221

③学校施設とその他の公共施設との複合化について

学校施設とその他の公共施設(市民体育館や図書館、プールなど)との複合化について、「どちらかといえば賛成」が33.6%ともっとも割合が高く、「賛成」と合わせると51.3%となり、5割を超えている。



(サンプル数)220